

<白金標準、自動車部門への相互関税の懸念の高まり・・・>



(出所：オアシス)

週末のトランプ大統領は記者団に対して「貿易相手国と同様の関税を課す相互関税の導入計画を来週公表する予定だ」と語り、「他国と同等に扱われるようにするためだ。米国はそれ以上もそれ以下も望んでいない」と記者団に説明し、「これに関して記者会見を開く」と付け加えており、また相互関税について協議するため 10 日か 11 日に会合を開催すると述べている。とりわけ自動車を対象とした関税が検討されていると説明しており、欧州連合 (EU) に対する付加価値税を念頭に置いている。

そのため週末には、トランプ大統領の相互関税の発言や ECB エコノミストが中立金利の推測を発表した事からも年 2 回の利下げを織り込みユーロが対ドルで売られている。

特に世界プラチナ投資評議会 (WPIC) は最新のプラチナ展望のレポートでトランプ大統領の経済政策は、全体として目先のプラチナ需要と価格にとってマイナスになると予想される記載をしている事を踏まえ、相互関税を受けて白金標準先物も再度 4650 円以下を試す値動きに備えるのが妥当に思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げ、**シグナル**は維持している。RCI では**短期**が下げながら、**長期**も切り下げている。そのためオシレーターは目先弱気を示しており、**40 日移動平均線**を下回る値動きに備えるのが妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,100,000 円(2025 年 2 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2025 年 2 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>